

■ CVFT1-250HA 定周波交流定電圧電源

CVFT1-250HA 仕様

型名		CVFT1-250HA
入力	電圧	単相 85 ~ 250V
	周波数	47 ~ 400Hz
	容量	550VA以下
	力率	99%以上
出力	電圧範囲	0 ~ 140.0V/0 ~ 280 .0V(2レンジ)
	電流範囲	2A(140Vレンジ)/1A(280Vレンジ)
	許容ピーク電流	8Apeak(140Vレンジ)/4Apeak(280Vレンジ)
	容量	280VA
	負荷力率	0.7 ~ 1(進 遅)
	周波数範囲	1.000 ~ 9.999Hz 0.001Hzステップ
		10.00 ~ 99.99Hz 0.01Hzステップ
		100.0 ~ 999.9Hz 0.1Hzステップ
	電圧波形歪率	0.3%
	ロードレギュレーション	± 0.5%
ラインレギュレーション	± 0.2%	
周波数安定度	± 0.01%	
計器	電圧計	0 ~ 300.0V 精度 ± 1%FS デジタル表示
	電流計	0 ~ 2.500A 精度 ± 1%FS デジタル表示
	周波数計	1.000 ~ 999.9Hz ± 1%FS デジタル表示
	電力計	0 ~ 250.0W 精度 ± 1%FS デジタル表示
	力率計	0 ~ 1.000 デジタル表示
付属機能	電流制御モード	電流制限値をリセット可能
	メモリー	最大10個 (電圧/電流/周波数)
	キロックスイッチ	誤操作防止のキロックスイッチ装備
	外部制御	RS-232C(標準) <新旧コマンド対応>
		オプションでGP-IB追加可能
出力方法	PPI (有接点制御入力)	
操作性	AC100V用3Pアウレット (フロント) 端子台 (リア)	
外形寸法	約430W × 94H × 400D mm (突起部除く)	
重量	約8.7kg	
本体価格	280,000円	

一般仕様

オプション

型名 OP2 : ラックマウント部品一式

パワーエレクトロニクスをサポート
東京精電株式会社

東京営業所 : 〒168-0081 東京都杉並区宮前4丁目28番21号
TEL.03-3332-6666(代) FAX.03-3332-6672
長野営業所 : 〒386-0155 長野県上田市蒼久保1216番地
TEL.0268-35-0555(代) FAX.0268-35-2895
名古屋営業所 : 〒462-0841 愛知県名古屋市中区黒川本通4丁目36番地黒川ビル 8F
TEL.052-991-9351(代) FAX.052-991-9350
ホームページ : <http://www.tokyo-seiden.co.jp/>
電子メール : info@tokyo-seiden.co.jp

本仕様は、予告なく変更することがあります。

お問い合わせは

パワーエレクトロニクスをサポート
東京精電株式会社

New

定周波交流定電圧電源 CVFT1-250HA

◆ 広範囲な電源入力に対応

AC85~250V、47~400Hz

◆ 見やすいデジタル表示

◆ 豊富な外部制御

(RS-232C、メモリー呼び出し)



優れた機能性と高い安全性

入力フリー

広範囲な電源入力に対応します。
・入力電圧：1 AC85～250V
・周波数：47～400Hz

見やすいデジタル表示

出力電圧、電流、周波数の他、負荷の電力、力率をデジタル表示します。

7seg LED表示
明るく見やすいLED表示を採用



キーロックスイッチ
誤作動防止のキーロックスイッチ装備

広範囲な出力周波数

広範囲な出力周波数を実現。
出力周波数1～999.9Hzまで設定ができます。

メモリー機能

電圧、電流、周波数、レンジ等の各設定値を1組として最大10組記憶し、必要に応じて呼び出して使用する事ができます。

メモリーキー
出力電圧、電流、周波数、レンジの設定条件を10組までメモリー可能です。

高調波規制に対応

電源入力部にアクティブフィルターを採用しており、広範囲にわたって高入力力率、低入力電流歪を実現しています。(電源入力周波数47～63Hzにて)

出力電圧を低歪率に制御

高分解能D/Aコンバータの採用と、リニアアンプにより広範囲にわたって低歪率を実現します。

高安定度

高安定な基準電圧発振器とリニアアンプの採用によりロードレギュレーション±0.5%以下、ラインレギュレーション±0.2%以下、周波数変動率0.01%以下となっています。

出力電流を制御可能

最大出力電流値をプリセット可能です。

利便性抜群の軽量・コンパクトボディ

多彩な外部制御機能

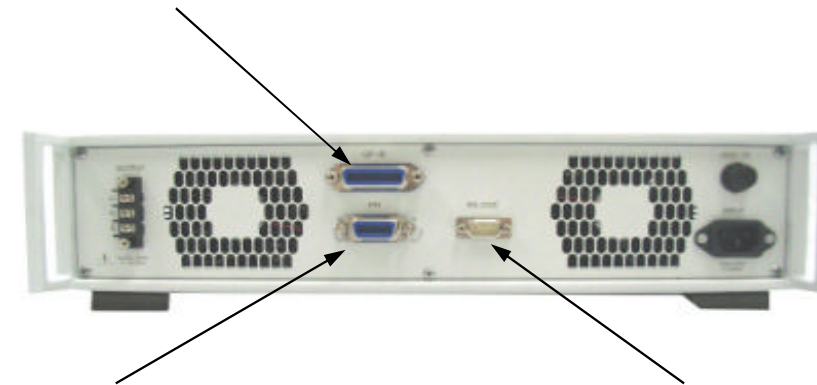
標準装備の有接点制御入力(PPI)は、出力のON/OFF、メモリーの呼び出しをスイッチ、シーケンサー等で行う事ができます。高度な外部制御を行う場合にはRS-232Cを使用して、全ての操作、測定データの読み出し等が可能となります。

GPIB (オプションで追加可能)

GPIBにより本装置を制御する場合に使用します。

低力率負荷に対応可能

大容量アンプの採用により、負荷力率は0～1(進相、遅相)の範囲で接続可能、力率0で定格出力電流の30%を、0.7～1では100%を保証しています。



PPI 制御入力コネクタ
14ピンのリボンコネクタです。10個のメモリー呼び出しと、出力のON/OFFが可能です。

RS-232C
パソコンで自動試験や試験結果の取り込みが可能です。

軽量・コンパクト

本体重量8.5kg以下と軽量です。又、ケースは標準ラック寸法ですので、オプション(OP2)のラックマウント部品を使用すれば簡単にラック取り付けが可能となります。

ロータリーエンコーダの導入

出力電圧の設定や周波数の設定は、ロータリーエンコーダにより容易に行えます。1クリックずつ回すと1ステップ、2クリック以上回すと、ターボ機能が働き、すばやく目的の設定値に達することができます。

2系統の出力

フロントパネル上にAC100V用3Pコンセント(但し出力電圧は最大AC280Vrms発生します)、リアパネル上に端子台出力を設置し、状況に応じて使用することができます。

大きなピーク電流供給能力

コンデンサインプット型整流負荷で定格電流実効値の約4倍のピーク電流が、出力できます。